安全データシート

作成日　2004年05月10日
改訂日　2014年01月30日

製 品 名：Phenolphthalein indicator ACS,Reag. Ph Eur

１．化学品及び会社情報

製品番号　：107233
製　品　名　：Phenolphthalein indicator ACS,Reag. Ph Eur
製品和名　：フェノールフタレイン 指示薬 ACS,Reag. Ph Eur
会　社　名　：メルク株式会社
住　所　：東京都目黒区下目黒1−8−1　アルコタワー
製品取扱部門　：メルクミリポア事業本部
MSDS発行部門　：EQJ部 EHSグループ
電話番号　：03-5434-5267
ＦＡＸ番号　：03-5434-5391
製　造　元　：Merck KGaA

２．危険有害性の要約

GHS 分類
健康に対する有害性
生殖細胞変異原性　：　区分2
発がん性　：　区分1B
生殖毒性　：　区分2

シンボル

注意喚起語　危険

危険有害性情報
H341　遺伝性疾患のおそれの疑い
H350　発がんのおそれ
H361　生殖能または胎児に悪影響のおそれの疑い

注意書き
P201　使用前に取扱説明書を入手すること。
P281　指定された個人用保護具を使用すること。
P308+P313　ばく露またはばく露の懸念がある場合は、医師の診断/手当を受けること。

３．組成及び成分情報

単一物・混合物の区別　：　単一物

化学名又は一般名	含有率	化学式	官報公示整理番号（化審法）	官報公示整理番号（安衛法）	ＣＡＳ番号	ＥＣ番号
フェノールフタレイン	99%	$C_{20}H_{14}O_4$	(9)-1152		77-09-8	201-004-7

４．応急措置

吸入した場合：
被害者を直ちに暴露した場所から空気の新鮮な場所に移動させる。

皮膚に付着した場合：
多量の水で洗い流す。
汚染された衣服は直ちに脱ぎ捨てる。

眼に入った場合：
多量の水で瞼を開けたまま、よく洗浄する。

飲み込んだ場合：
直ちに水(最大コップ2杯)を飲ませる。
不快を生ずる場合は、医師の診察を受ける。

５．火災時の措置

消火剤：
水，炭酸ガス，泡，粉末

特有の危険有害性：
可燃性物質
火災時に有害ガスを発生する。

消火を行う者の保護：
適切な保護具を着用し、安全な場所から消火活動を行う。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項：
漏出物との接触を避ける。
粉塵を吸い込まないように注意する。

環境に対する注意事項：
下水施設に流してはならない。

回収・中和等：
乾燥した状態で収集し、適切な廃棄処理を行う。
漏出箇所はきれいに清掃する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い：
吸い込んだり眼や皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具（保護眼鏡・保護手袋・保護長靴等）を着用し、出来るだけ風上から作業する。
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに粉塵を発生させない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等、粗暴な取扱をしない。

保管：
容器は気密性を保つ。
乾燥状態で保管する。

８．ばく露防止及び保護措置

ばく露防止措置：
設備対策：
取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、身体洗浄を行う設備を設置する。

衛生対策：
眼、皮膚および衣服に触れないようにする。
吸入を避ける。

その他：
適切な保護服・保護手袋・保護眼鏡等を着用する。
作業終了後は手洗い、洗顔を充分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。

９．物理的及び化学的性質

形　　状	：	固体
色	：	白色
臭　　い	：	無臭
密　　度	：	1.30
蒸 気 圧	：	データなし
融　　点	：	258 - 262℃
沸　　点	：	データなし
引 火 点	：	データなし
自然発火点	：	データなし
爆 発 限 界	：	下限　データなし 上限　データなし
溶 解 性	：	水にほとんど溶けない。

１０．安定性及び反応性

反応性：
粉塵爆発のおそれがある。
加熱により、有害な蒸気またはガスを生成する。

危険有害反応可能性：
反応するおそれ:
強酸化剤

１１．有害性情報

皮膚に付着、目に入った場合：
データなし。

吸入した場合：
データなし。

吸収された場合：
大量の場合、心臓血管障害のおそれがある。
大量の場合、中枢神経に障害をおこす。

飲み込んだ場合：
大量の場合、嘔吐、吐き気、下痢のおそれがある。

その他の有害性：
この他の有害性を否定することはできないが、それらを予測評価するための充分な知見はない。

１２．環境影響情報

生体蓄積性：
蓄積性は見られない。

その他：
データはないが、自然水、下水、土壌中への流出を避ける。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物：
関連法規及び市区町村条例等に従い、産業廃棄物として廃棄すること。

作成日　2004年05月10日
改訂日　2014年01月30日

容器包装：
空容器には残余物がないようにし、関連法規及び市区町村条例等に従って適切に廃棄すること。

１４．輸送上の注意

安全対策：
運送に際して漏れのないことを確かめ、直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

１５．適用法令

フェノールフタレイン
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)：第2種指定化学物質　政令番号：74

１６．その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物質化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい